

アルス(ARS)とはラテン語で、ARTの源である。つまり、熟練、技術、学術、芸術、知識、学、原理…といったような意味をもつ。新潟工業短期大学を設置する学校法人は新潟科学技術学園と称すが、そこにいう「技術」の源流はまさしくアルスに求められなければならない。本学は単なる技術屋の養成ではなく、技術と知識と心が一体となって、アルスの領域にまで高められるそういった人間を生み出そうと指向している。



＝ご挨拶＝



新潟工業短期大学後援会
会長 西村 俊男
(文信堂書店 会長)

平成29年度後援会会長を務めさせていただきました西村でございます。

後援会員の皆様には、日頃から本会の活動に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本会では、新潟工業短期大学の教育目的を達成し、その発展に寄与することを目的に、在学生の保護者の皆様をはじめ、教職員や本会の趣旨に賛同する方々のお力添えにより、各種の後援事業を行っております。学生の皆さんにとって、勉学に励むことはもちろんですが、課外活動や学友会活動を積極的

に行うことは、正課の授業だけでは得られないものを補うという点からも非常に大切なことです。本会は、積極的かつ効果的な後援事業により学生が充実した大学生活を送れるよう、今後とも大学と連携しながら取り組んでまいりますので、皆様にはこれまでと同様に指導・ご支援くださいますようお願い申し上げます。

＝ご挨拶＝



新潟工業短期大学学長
長谷川 富市
(後援会顧問)

後援会の皆様ご健勝にお過ごしでしょうか。学年始めから4か月が過ぎ、学生諸君も学生生活が軌道に乗り期末試験に向かって励んでおります。さて、本学の昨年度卒業生の自動車整備士国家試験合格率は、2級ガソリン95.7%、同ジーゼル93.9%、1級小型100%で全て全国平均を上回りました。また、就職率は3年連続で100%でした。これは学生諸君の熱心な取組と先生方の愛情と情熱ある教育の成果であると思っております。今年度から留学生が7名入学し、日本

人学生と共に元気に勉学に励んでおります。また、昨年度開設の電子制御コースの学生も2年次となり先生方の懇切な指導の下頑張っております。後援会におかれましては、本年度も、キャリア形成のための工場見学、学友会活動・部活動・その他課外活動、国家資格取得、等にご支援を戴くこととなっております。ここに深く感謝致しますとともに今後ともご支援の程宜しくお願い申し上げます。

平成29年度後援会役員名簿 (敬称略)

会 長	西村 俊男	賛助会員 (株)文信堂書店 会長
副会長	下野 よし子	父母会員
2年生評議員	齋藤 和憲	父母会員
	下野 よし子	父母会員
1年生評議員	藤田 あづさ	父母会員
	五十嵐 紀子	父母会員
	菊田 和美	父母会員
	三上 里香	父母会員
監 事	石黒 健一	賛助会員 (株)ニイガタ文具 社長
	高野 剛	教 授
幹事長	鈴木 真人	教 授
幹 事	川崎 信隆	講 師
	太田 卓馬	事務長
顧 問	長谷川 富市	学 長

MESSAGE

学生へのメッセージ

日本を支える基幹産業である自動車産業界は、他の産業分野を交えて一大転換期を迎えようとしています。今後の自動車の在り方を変える次世代の自動車は、ハイブリッド車や電気自動車、更には燃料電池車などと、益々進化を続けていきます。

このような激動する社会環境の中で、本学の学生には、これからも益々変化を続ける自動車技術に対応できるエンジニアとして、いつまでも自動車産業界で、しっかりと活躍してもらいたいと私は考えております。

そのためには、「自分で考え、自分で学ぶ」ことを身に付ける必要があります。本学の学生には、日々の学習を真剣に取り組み、授業や実習を通して自動車の基本的な知識・技術をしっかりと身に付け、応用力のある社会人として巣立って行ってほしいと願い、毎日の授業に励んでいます。



自動車工業科 学科長
高野 剛

2年生へ

二級自動車整備士資格 合格にむけて
整備技術講習が始まります

二級自動車整備士国家試験はガソリンとジーゼルそれぞれに学科試験と実技試験があります。実技試験免除となる整備技術講習は、卒業見込みの方を対象に卒業の半年前から行われるため、後期授業開始直前より始まります。講習もガソリンとジーゼルに分かれ、昨年度の実績では、修了率は、ガソリン90.9%、ジーゼル90.7%でした。又卒業式後に受験した学科試験の合格率は、ガソリン95.7%、ジーゼル93.9%となりました。

今年度も後期の授業スタート前の9月19日から技術講習が始まります。国家試験対策の模試期間を含めると、3月23日迄の半年間となりますので、怪我や病気に十分注意され、整備士資格を取得せずに就職することのないよう、後期は明確な目標を持って取り組んでいただきたいと思います。

〈国試対策委員会〉

〈二級自動車整備士 整備技術講習〉

ガソリン：9/19(火)～12/1(金) ジーゼル：12/6(水)～2/9(金)

〈二級自動車整備士国家試験 学科試験対策模試期間〉

ガソリン：12月中旬～3/23(金) ジーゼル：2月上旬～3/23(金)

〈二級自動車整備士国家試験(学科)〉

試験日：平成30年3月25日(日) (会場：新潟工業短期大学・2号棟)

1年生へ

進路確定にむけて

短期大学では、2年に進級するとすぐに就職活動が本格化するため、入学して1年に満たない中で進学・就職に向けた目標を定める必要があります。今から意識を高めて社会に順応し自立する準備を始めることが重要です。近年の就職環境は、企業の求人要請が高く、募集及び採用試験の後ろ倒しが推奨される中でも、早期化する状況にあります。しかし、企業が選考基準を下げることはありません。その選考基準をクリアするには学力の向上と自己分析が重要です。また、成績は勿論のこと、企業が求める『学生と社会人の違い』、『あたりまえの常識』、挨拶・礼儀・言葉づかいなど、日常生活を通して、保護者の皆様からアドバイスされることも大切と考えます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。また、進学では本学に専攻科(2年制)があり、国家資格の一級自動車整備士資格を取得することができます。2016年度卒業生の進路確定率は、おかげさまで、100%を達成することが出来ました。感謝申し上げます。また、本年度から2年生は自動車整備士資格を取得する自動車技術コースと機械保全技能士などの資格を取得する電子制御コースに分かれて学習しています。特に電子制御コースに対する就職支援がこれまで以上に必要となるため、新たに学内に設置された『産学連携室』と協力しながら指導を行って参ります。

〈広報・就職支援センター〉

SCHEDULE
平成29年度 行事

- 4/5～4/7 ●入学式・オリエンテーション
- 4/7 ●工場見学(スバル)(1年)
- 4/10～7/28 ●前期授業
- 5/17 ●交通安全講習会(1年)
- 5/24 ●電子制御コース 工場見学(2年)
- 6/12 ●自動車技術セミナー(マツダ)(1年)
- 6/14 ●創立記念日
- 6/18 ●中古自動車査定士試験(2年)
- 6/19 ●トムス・セミナー(1年)
- 6/29 ●薬物乱用防止講演会(1年)
- 7/1 ●バスケットボール大会(球技大会)
- 7/1、2、9 ●3級機械保全技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 7/20 ●NGKプラグ講習会(2年)
- 7/25 ●自動車技術セミナー(日産自動車)(1年)
- 7/31～8/4 ●前期定期試験
- 8/5～9/24 ●夏季休業
- 8/28 ●損害保険募集人資格講習&試験(2年)
- 9/14 ●ガス溶接技能講習会(1年)
- 9/19 ●二級自動車整備士技能講習会(2年・自動車技術コース)
- 9/21 ●工場見学(県内企業)(1年)
- 9/25～1/25 ●後期授業
- 10/21 ●流麗祭(学園祭)
- 11/11 ●明日へのテクノロジーセミナー(公開講座)
- 11/下旬 ●3級電気機器組立て技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 12/上旬 ●2級機械保全技能検定 試験(2年・電子制御コース)
- 12/中旬 ●整備士資格試験対策講習(2年・自動車技術コース)
- 12/23～1/8 ●冬期休業
- 1/26～2/1 ●後期定期試験(2/8 定期試験成績通知)
- 2/上旬 ●低圧電気取扱従事者特別教育 講習会(1年)
- 2/8 ●学内企業説明会(1年)
- 3/14 ●卒業式
- 3/15～ ●春季休業
- 3/25 ●二級自動車整備士登録試験(2年・自動車技術コース)

SCHOOL LIFE
学生生活紹介

NEWS

ランチメニューがリニューアル!!
ぜひ、ご利用ください

後援会活動および報告

平成29年度後援会評議員会が5月31日に本学で開催され、前年度決算および本年度活動方針、予算などが了承されました。本年度もこれまでと同様に学生のための課外活動援助や厚生補導活動援助を中心に積極的支援に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、後援会活動状況および新潟工業短期大学と新潟科学技術学園の情報については次のホームページからもご覧いただけます。

〈新潟工業短期大学後援会に関する情報〉 <http://www.niigata-ct.ac.jp/parents/supporters/#p1>

〈新潟工業短期大学の教育に関する情報〉 <http://www.niigata-ct.ac.jp/about/release/>

〈新潟科学技術学園の財務に関する情報〉 <http://www.niigata-inst-st.ac.jp/info/zaimu.html>



学校法人新潟科学技術学園

新潟工業短期大学
NIIGATA COLLEGE OF TECHNOLOGY

編集発行：新潟工業短期大学後援会

〒950-2076 新潟市西区上新米町5-13-7

TEL 025-269-3174(代)

FAX 025-268-1222

URL <http://www.niigata-ct.ac.jp/>